

平成23年度事務事業評価結果(建設部) 前年度「現状通り継続」以外

NO	部局	担当課所室	事務事業名	事業概要等	H22予算額 (千円)	22年度最終 評価結果	22年度事務事業評価 での指摘事項	22年度指摘事項 に対する対応	23年度指示事項
1	建設部	道路維持課	除雪車両ロケーションシステム導入経費	市民へ除雪作業状況の情報を提供するとともに、効率的な除排雪作業を実施するため、車両位置をリアルタイムで把握できる除雪車両ロケーションシステムを運用する。	7,520	執行方法の見直し	—	平成18年度から100台で試験運用を行い、市民へ除雪作業情報を提供していたが、平成22年度の西部・南部地区配置をもって市街地への運用が終了したことから、一旦休止する。	—
2	建設部	建設総務課	道路台帳管理費	道路法に基づく市道路線の認定、廃止を行うほか、道路用地等の境界確認と登記、道路および橋りょうの台帳の管理、道路占用許可等を行う。	81,708	縮小	事務経費について見直しを図ること。	道路関係各種協議会への出席については、東京事務所への代理出席依頼等により経費削減を図った。さらに隣県での会議等については、公用車を利用しさらなる経費削減を図ることとした。	—
3	建設部	公園課	公園維持管理費 (公園維持管理費)	すべての市民が安全で気軽に公園を利用できるようにするため、公園・緑地の清掃、塵芥回収、除草、点検など施設の適切な維持管理を行う。	207,890	縮小	公園の利用者は地域住民等ある程度特定されることから、市民協働による維持管理を進め、コスト削減を図ること。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度は公園愛護協力会の結成を促進し除草委託費の削減を図った。 ・平成23年度は街区公園の除草回数減、へそ公園及び竹の花公園の維持管理を縮小させ維持管理費の削減を図っている。 ・平成24年度に仁別植物園の管理を民間への委託、「花と緑の相談所」及び「自然観察員」の無償活動への移行または廃止、花木観光農園の維持管理のあり方を見直し、削減の検討を行っている。 	—

平成23年度事務事業評価結果(建設部) 前年度「現状通り継続」以外

NO	部局	担当課所室	事務事業名	事業概要等	H22予算額 (千円)	22年度最終 評価結果	22年度事務事業評価 での指摘事項	22年度指摘事項 に対する対応	23年度指示事項
4	建設部	道路維持課	交通安全施設等整備事業	市道の交通安全確保のため、交通安全対策特別交付金(反則金)等を活用し、道路案内標識、道路照明灯、道路反射鏡、道路防護柵、道路区画線、点字設置および歩道改良を実施する。	113,000	縮小	単独事業については、縮小の方針で臨むこと。	平成22年度の指摘事項に基づき、平成23年度予算において単独事業費を削減した。	—
5	建設部	道路維持課	除排雪関係経費	策定した「道路除排雪基本計画書」に基づき、災害規模の豪雪にも柔軟に対応できる除排雪体制で冬期の安全な道路交通確保を図る。	2,700,000	縮小	<ul style="list-style-type: none"> ・オペレーターの技術水準を向上させるための方策として、単価に差を付けるなどの改善策を検討すること。 ・今後一層、出動基準に柔軟性を持たせるなどして、さらなるコスト削減を図ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業務における単価設定のあり方の検討資料とするため、除雪機械を操作するオペレーターの運転歴による技量差についての調査を、全市一斉作業時において二回実施した。調査にあたっては公平性を保つため、できる限り同じような作業環境や機械の機種規格とし、20名のオペレーターを対象とした。 ・除雪の出動判断基準値は、路面積雪深10cmとしたが、常に気象や道路状況の的確な把握に努め、出動の指示に際しては、費用対効果を十分に見極め、効率的かつ効果的な除排雪作業を実施した。 	—